

ピアノって、木でできてるの?!

SDGsラジオを読んでみよう!

ピアノが何からできているか、知っていますか?

実は、ピアノの部品の80%は「木」からできているんです。

そんな木は今、世界中でたくさん使われていて、どんどん減ってしまっています。

そこで、ピアノをつくっている会社「河合楽器製作所」では、

ピアノづくりになくてはならない木を大切にするために、

たくさんの社員の人が集まって、「カワイの森」という取り組みを行っています。

たとえば、ピアノをつくる工場があるインドネシアという国で、

たくさんの木を植えて、森を育てる活動を続けています。

木には、地球の気温が上がる原因となる「二酸化炭素」を吸いこむはたらきがあるため、

木を植えることは、地球を守ることにもつながるんですよ。木を使うからこそ、森を豊かにする。

カワイの森のこの取り組みは、ピアノの未来も、地球の未来も守ることにつながります。

森の自然を残すために、私たちにできることは何でしょうか? 考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう!



画像参照: 木からピアノができています
(河合楽器製作所公式HPより)

ピアノにはたくさんの木材が使われていて、約80%が木からできていると言われています。その材料になる木が今、世界ではどんどん減っています。人が森を切りひらいてまちや畑をつくったり、ものをつくるために木をたくさん使ったり、地球温暖化によって山火事が起きたりしているためです。そのため、森林を守る「森林保護」は、世界中で大きな課題となっています。そこで、ピアノをつくっている会社「河合楽器製作所」では、ピアノづくりに欠かせない木を守るための取り組みを進めています。そのひとつが、河合楽器製作所ではたらく人たちが集まって行っている「カワイの森」という取り組みです。



画像参照: インドネシアの「カワイの森」での植林の様子
(KAWAI Report 2025より)



河合楽器製作所では、ピアノをつくる工場があるインドネシアという国で、カワイの森をつくり、木を植える活動を行っています。この活動で、2025年までに88万本もの木が植えられてきました。木には、地球温暖化の原因となる「二酸化炭素」を吸収するはたらきがあります。そのため、木を植えることは、地球温暖化を防ぐことにもつながります。河合楽器製作所は、環境や森林保護の取り組みに力を入れ、地球温暖化を防ぐための活動を進めています。河合楽器製作所のこの取り組みは、ピアノの未来も、地球の未来も守ることにつながっています。

キーワード

森林保護

森を守り、木や自然を大切に活動することです。いきもののくらしや地球の環境を守るために大切です。

地球温暖化

二酸化炭素などのガスが増えることで、地球の気温が少しずつ上がっていくことです。これによって、大雨や暑すぎる日が増えるなど、さまざまな変化が起こることがあります。

二酸化炭素

ものを燃やしたときに出る気体で、CO2ともよばれています。地球がだんだんあたたかくなる原因のひとつになります。

対象ゴール



みなさんにできること!

森を守るために、何ができるか? 考えてみましょう。

おさらい

- ピアノの約80%は木材からできている。
- 河合楽器製作所では、ピアノづくりに欠かせない木を守るために「カワイの森」という取り組みを行っている。
- 木を植えることは、地球温暖化を防ぐことにつながる。

メモ



SDGs ラジオ